

平成28年度 ダスキン健康保険組合 事業所別 健康白書

ダスキン健康保険組合では、被保険者(働きさん本人)の健康維持・増進への取り組みとして、事業所の働きさんの健康推移と、各種取り組みの成果を数値的に分析し、目標値の進捗状況やデータヘルス計画に基づく結果の確認として「健康白書」を作成いたしました。その結果を基に、今後取り組むべき課題についての報告と共有を図ります。

被保険者数

5,342人 (平成28年度)※1 6,211人 (平成29年3月末)

(委託先) 株式会社 インテージテクノスフィア

ダスキン健康保険組合(被保険者:働きさん本人)の状況

健康への意識が二極化しています。

**被保険者の医療費、1人当たり医療費が
年々増加傾向**

過去3年間で最も高く年々増加しています。疾病別で見ると「循環器系の疾患」が最も高く、次いで「新生物」、「内分泌・代謝系の疾患」の順となっています。

健康意識が年々向上しています

週2回以上の運動をしている方、歩行などの身体活動を毎日行っている方も年々増加しています。

生活習慣の見直しが必要です。

喫煙率は低減できていません

全体ではほぼ横ばいで推移しています。男女ともに全国平均より高く、重点的な禁煙への取り組みが必要です。

**生活習慣病の有所見率も
低減できていません**

生活習慣病における有所見率も一定数おり、各ハイリスク者も糖尿病3.3%、高血圧症3.3%、脂質異常症3.9%と一定数発生しています。

**こころの健康も取り組みが
急がれます**

メンタルヘルス系の疾患も一定数おり、新規発症者が4割以上を占めています。

健康診断が健康リスクの早期発見につながっています。

定期健康診断は約2割、ファミリー健診は未だ約半数が未受診です

- 特定健診受診率は定期健診は高い割合で推移していますが、ファミリー健診(配偶者・家族)は年々受診率は増加しているものの、約半数の受診にとどまっています。
- がん検診での有所見率が高く、7~8%は有所見者です。がん検診受診者のうち約2割の方が新規発症していることから、早期発見のため定期的ながん検診を受けることが必要です。

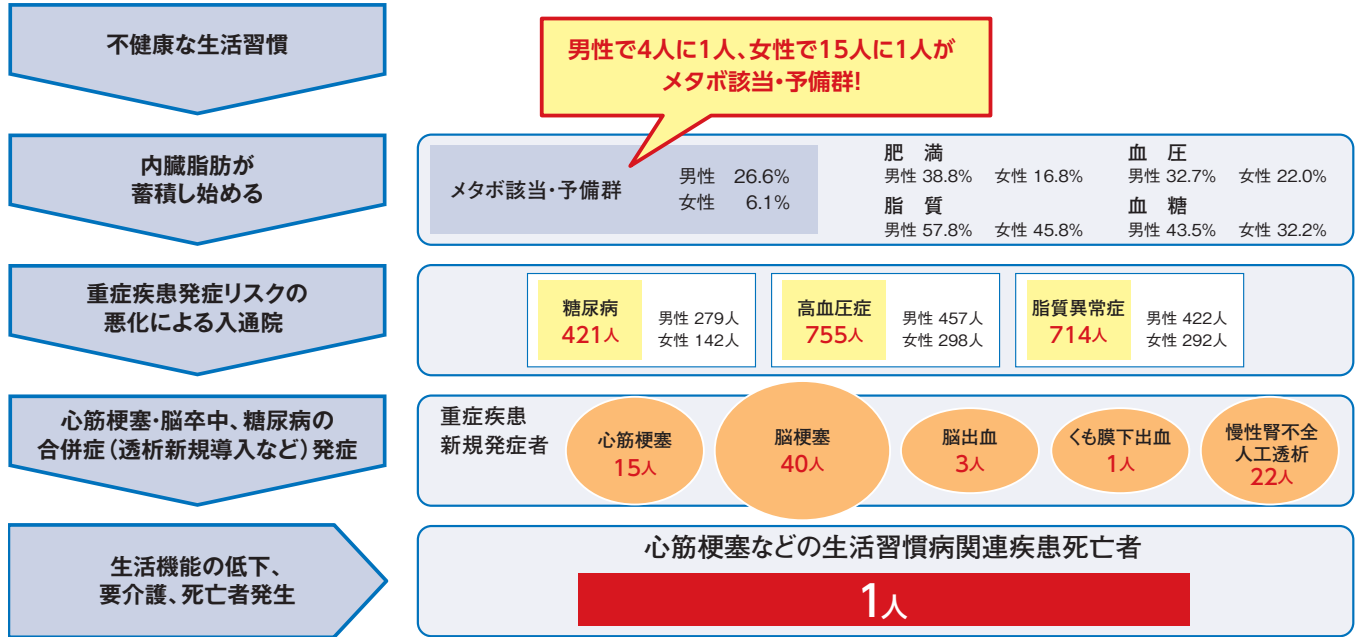
※1 平成28年度(平成28年4月1日~平成29年3月31日)を通じて在籍した被保険者数。

本健康白書では、この人数を対象として集計しています。

平成28年度 ダスキン健康保険組合生活習慣病リスク状況

生活習慣病は生活習慣の改善で重症化疾患を予防できる疾患です。

ダスキン健康保険組合の生活習慣病健康リスク状況をみると男性で4人に1人、女性で15人に1人はメタボ該当・予備群でした。糖尿病・高血圧症・脂質異常症で病院を受診している方は疾患ごとに400~700人います。また、合併症など病気が重症化している方も述べ71名となっています。生活習慣病は生活習慣の改善で重症化疾患を予防できる疾患です。ダスキン健康保険組合では健康支援プログラムとして必要な方への参加を呼び掛けていますので、ご自身の健康を見直す機会としてぜひご利用ください。



平成28年度 事業所別課題・施策一覧

〈課題と施策〉 ダスキン健康保険組合では、各事業所別の結果から重点的に取り組むべき課題を確認し、それに対する施策をまとめています。

事業所名	課題	健康診断の受診率が低い	生活習慣病重症化予防が必要	健康診断でのハイリスク発症者がいる	喫煙率が高い	健康増進活動への取組が低い	肥満率が高い	肥満率が高く健康増進活動実施率が低い	がん検診の有所見率が高い
	施策	健康診断の受診促進	生活習慣病対策(健康支援プログラムの活用) ^{※1}	ハイリスク者への医療機関受診勧奨 ^{※2}	禁煙対策(喫煙場所の変更、事業所内禁煙等)	健康増進活動への取り組み(健保主催のKenCoMイベント活用) ・みんなで歩活			がん検診の受診促進と有所見者への受診勧奨
ダスキン			●					●	●
和倉ダスキン	プロダクト系					●			●
小野ダスキン	プロダクト系		●	●		●			
ダスキンプロダクト西関東	プロダクト系		●	●	●				
ダスキンヘルスケア	その他	●	●	●					
ダスキンプロダクト中四国	プロダクト系		●	●		●			
ダスキンサーヴ東海北陸	サーヴ系	●		●	●				
エバーフレッシュ函館	その他				●	●			●
ダスキンシャトル東京	サーヴ系		●	●	●				
ダスキンサーヴ九州	サーヴ系		●	●	●				●
ダスキンサーヴ北海道	サーヴ系		●	●	●				
ダスキンプロダクト東北	プロダクト系		●	●	●				
ダスキン共益	その他		●	●					
ダスキンプロダクト北海道	プロダクト系		●	●	●	●			
ダスキンプロダクト東関東	プロダクト系		●	●	●				●
ダスキンプロダクト九州	プロダクト系		●	●	●	●			●
ダスキンプロダクト東海	プロダクト系		●	●					
ダスキンサーヴ東北	サーヴ系			●	●	●			●
ダスキンサーヴ北関東	サーヴ系			●	●				●
ダスキンサーヴ中国四国	サーヴ系		●	●			●		●
ダスキンサーヴ近畿	サーヴ系		●	●	●				
エムディフード	その他			●					●
ダスキン伊那	サーヴ系		●	●			●		

※1 特定保健指導、糖尿病性腎症、慢性腎不全重症化予防プログラム、心血管疾患発症予防プログラム

※2 定期健康診断の2次健診受診勧奨、重症化リスク対象者への受診勧奨

働きさん(被保険者) 平成28年度 健康通信簿 (事業所別・グループ別)

グループまたは事業所内上位3位

グループ、または事業所内下位3位

金額、割合、順位は小さい方が健康な状態です。

グループ名 事業所名称	人数 ※1	1人当たり 医療費		生活習慣病に おける発症率		生活習慣病に おける重症化・ 合併症発症率		ハイリスク者 発生率 (糖尿病)		ハイリスク者 発生率 (高血圧症)		ハイリスク者 発生率 (脂質異常症)		肥満率		喫煙率		
		医療費(円)	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	
ダスキン健保計	5,058	177,247	—	22.5%	—	3.6%	—	3.3%	—	3.3%	—	3.9%	—	28.9%	—	33.1%	—	
ダスキン	2,344	182,202	20	23.7%	16	3.9%	16	4.5%	22	3.3%	15	4.1%	17	33.1%	21	30.1%	8	
クリーンケア グループ	本部	486	158,710	9	25.5%	10	4.3%	10	3.3%	7	4.4%	12	4.4%	9	31.2%	7	27.7%	4
	地域	334	172,115	10	23.1%	7	4.2%	9	6.1%	11	4.6%	13	6.1%	10	41.6%	12	31.5%	8
	直営支店	357	183,723	11	20.7%	5	1.1%	6	3.1%	6	0.9%	3	3.1%	7	19.3%	1	30.9%	7
生産グループ	本部	60	249,863	14	25.0%	9	3.3%	8	8.5%	15	0.0%	1	1.7%	4	29.5%	5	30.5%	6
	支部	15	43,895	1	6.7%	2	0.0%	1	0.0%	1	0.0%	1	0.0%	1	33.3%	9	46.7%	14
	工場	182	199,569	12	26.9%	12	4.9%	11	7.7%	12	3.3%	8	6.6%	11	27.1%	3	28.6%	5
フードグループ	本部	169	203,271	13	29.6%	14	5.3%	12	4.8%	10	4.2%	9	3.6%	8	48.5%	13	39.3%	10
	支部	86	143,357	7	23.3%	8	7.0%	14	8.2%	14	2.4%	4	7.1%	12	52.3%	14	41.2%	11
	直営店	123	94,377	5	6.5%	1	0.8%	5	1.6%	4	2.5%	5	2.5%	6	23.6%	2	33.6%	9
レントオール グループ	本部	23	116,884	6	26.1%	11	0.0%	1	4.3%	9	4.3%	11	8.7%	14	30.4%	6	43.5%	13
	支部	14	82,352	4	21.4%	6	0.0%	1	0.0%	1	7.1%	14	7.1%	13	57.1%	15	64.3%	15
	直営店	70	79,890	3	11.4%	4	1.4%	7	2.9%	5	4.3%	10	10.0%	15	32.9%	8	41.4%	12
H&B・USグループ	事業部	33	79,058	2	9.1%	3	0.0%	1	0.0%	1	3.0%	7	0.0%	1	27.3%	4	12.1%	1
ライフケアグループ	本部	38	150,837	8	39.5%	15	13.2%	15	8.1%	13	10.8%	15	0.0%	1	37.8%	11	18.9%	2
本社グループ	本部	333	276,859	15	29.1%	13	5.4%	13	4.0%	8	2.8%	6	1.8%	5	35.3%	10	21.1%	3
和倉ダスキン	91	158,439	18	25.3%	18	3.3%	13	3.3%	16	3.3%	14	1.1%	3	20.4%	6	21.3%	3	
小野ダスキン	128	128,772	12	25.0%	17	5.5%	19	0.8%	4	3.9%	18	5.5%	20	22.0%	8	11.7%	1	
ダスキンプロダクト西関東	82	123,140	10	26.8%	19	2.4%	10	3.7%	18	4.9%	21	3.7%	14	29.3%	19	45.1%	21	
ダスキンヘルスケア	625	155,140	17	18.6%	8	3.0%	12	1.4%	7	3.7%	16	3.0%	11	23.6%	12	28.3%	6	
ダスキンプロダクト中四国	84	149,966	16	23.5%	15	3.5%	15	2.4%	13	2.4%	8	4.8%	18	25.9%	15	22.6%	4	
ダスキンサーヴ東海北陸	240	131,447	14	18.8%	9	2.0%	9	1.7%	8	2.5%	10	2.9%	10	25.7%	14	42.5%	17	
エバーフレッシュ函館	54	121,426	9	22.2%	13	0.0%	1	0.0%	1	3.7%	17	1.9%	5	24.1%	13	42.6%	18	
ダスキンシャトル東京	87	170,566	19	11.1%	2	3.3%	14	2.3%	11	2.3%	7	5.7%	21	18.4%	4	44.8%	20	
ダスキンサーヴ九州	268	263,474	23	27.8%	21	1.9%	5	2.6%	14	4.5%	20	3.4%	13	27.7%	17	40.7%	14	
ダスキンサーヴ北海道	114	230,194	22	27.6%	20	0.0%	1	3.5%	17	5.3%	22	7.9%	23	32.5%	20	50.9%	22	
ダスキンプロダクト東北	41	110,989	3	19.5%	10	7.3%	23	0.0%	1	2.4%	9	2.4%	8	17.1%	2	29.3%	7	
ダスキン共益	24	98,617	1	16.7%	7	4.2%	17	4.2%	21	0.0%	1	0.0%	1	16.7%	1	20.8%	2	
ダスキンプロダクト北海道	50	115,457	4	34.0%	22	2.0%	8	2.0%	10	0.0%	1	2.0%	7	18.0%	3	44.0%	19	
ダスキンプロダクト東関東	106	116,363	6	15.1%	4	6.6%	20	2.8%	15	1.9%	5	2.8%	9	23.0%	11	41.5%	15	
ダスキンプロダクト九州	79	216,109	21	20.3%	11	2.5%	11	3.8%	19	2.5%	11	5.1%	19	29.2%	18	40.5%	13	
ダスキンプロダクト東海	68	100,057	2	23.2%	14	7.2%	22	0.0%	1	5.9%	23	1.5%	4	19.1%	5	30.9%	9	
ダスキンサーヴ東北	105	115,569	5	12.4%	3	1.9%	6	1.0%	5	2.9%	13	1.9%	6	22.9%	10	51.4%	23	
ダスキンサーヴ北関東	130	130,886	13	16.2%	6	1.5%	4	2.3%	12	1.5%	4	3.1%	12	22.6%	9	40.0%	12	
ダスキンサーヴ中国四国	115	118,665	8	15.7%	5	5.2%	18	1.7%	9	2.6%	12	7.0%	22	36.5%	22	41.7%	16	
ダスキンサーヴ近畿	102	116,365	7	20.4%	12	1.9%	7	1.0%	6	3.9%	19	3.9%	16	21.5%	7	39.2%	11	
エムディフード	52	125,748	11	3.8%	1	0.0%	1	3.8%	20	1.9%	6	3.8%	15	26.9%	16	32.7%	10	
ダスキン伊那	15	137,954	15	46.7%	23	6.7%	21	6.7%	23	0.0%	1	0.0%	1	40.0%	23	26.7%	5	

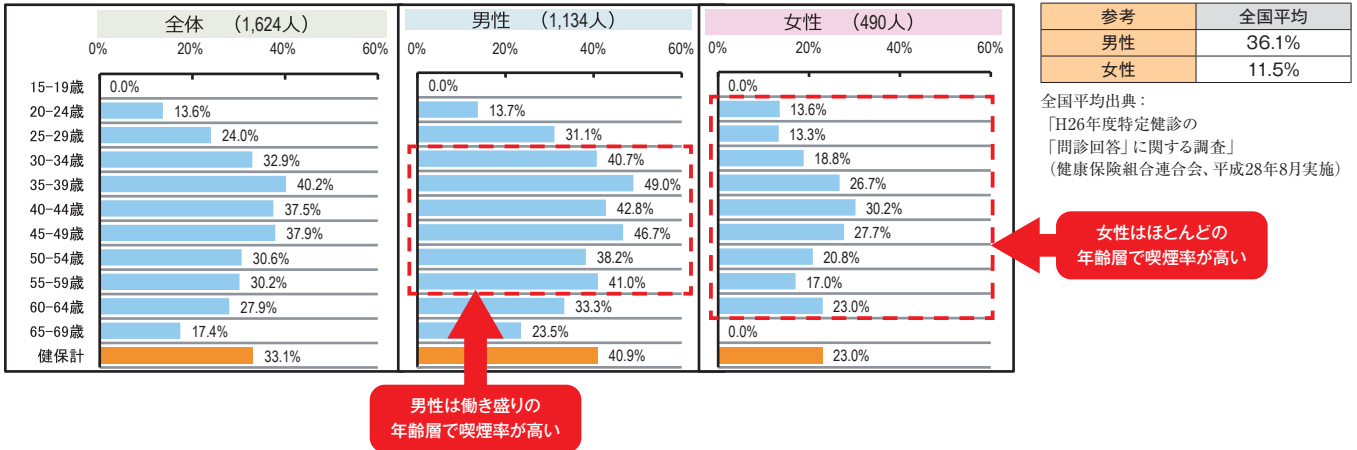
注記：適用事業所のうち人員5名以下の事業所（ダスキン健康保険組合、ダスキン愛の輪基金）を除く23社を対象としています。

※1：平成28年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）を通じて在籍した被保険者数。

※グループは平成29年4月1日時点の組織で表示。グループ名は組織規程に基づく名称とは異なります。（レントオールグループ、H&B・USグループ、ライフケアグループなど）

喫煙状況について(本人 年齢階層別・男女別)

喫煙している方の割合を男女別・年齢階層別で調査しました。ダスキン健康保険組合の喫煙率は年々減少傾向ですが、年齢層別にみると男性は働き盛りの年齢層が、女性はほとんどの年齢層で全国平均より高い喫煙率となっています。



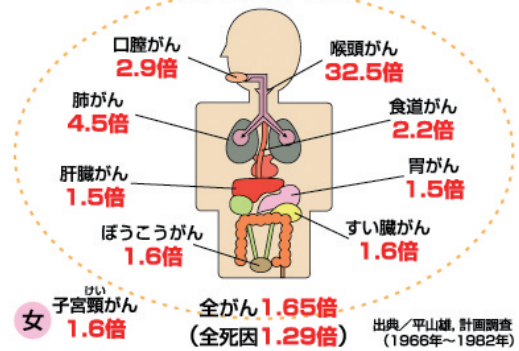
■喫煙者本人への健康影響 (がん) について

◇「喫煙により引き起こされる」と判定された健康影響

疾患名	発症部位および影響
がん	膀胱・子宮頸部・食道・腎臓・喉頭・白血病・肺・口腔・膵臓・胃
循環器疾患	腹部大動脈瘤・動脈硬化・脳血管疾患・冠状動脈疾患
呼吸器疾患	慢性閉塞性肺疾患・肺炎・子宮内での呼吸器への影響(肺機能)・小児/青年期の呼吸器への影響(肺機能・呼吸器症状・喘息の症状)・成人の呼吸器への影響(肺機能)・その他(呼吸器症状)
生殖器における疾患	胎児死亡・死産・生殖機能低下・低出生体重・妊娠の合併症
その他	白内障・健康状態の減弱/有病・大腿頸部・骨折・低骨密度・消化性潰瘍

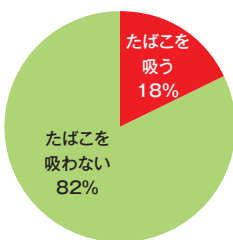
出典：厚生労働省：e-ヘルスネット 喫煙による健康影響
<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/tobacco/t-02-002.html>

非喫煙者と比較した喫煙者のがんによる死亡の危険性(男)



出典：第1回山形県受動喫煙防止対策検討委員会

■受動喫煙の健康影響



平成27年 国民栄養調査より

国民の8割以上は吸わない人

◇受動喫煙による健康被害

肺がん	1.3倍
虚血性心疾患	1.2倍
脳卒中	1.3倍
乳幼児突然死症候群	4.7倍

吸わない人も受動喫煙で健康リスクが増大します

少なくとも年間1万5千人は受動喫煙を受けなければ、がん等で死亡せずに済んだと推計
→年間交通事故死亡者の4倍

出典：厚生労働省 受動喫煙防止対策の強化について(H29/3/1) 「受動喫煙防止対策強化の必要性他」より

喫煙により引き起こされる疾患は、がん以外にもあり最近改めて確認されたものとして、腹部大動脈瘤・急性骨髄性白血病・白内障・子宮頸部がん・腎臓がん・膵(すい)臓がん・肺炎・歯周病・胃がんなどがあります。

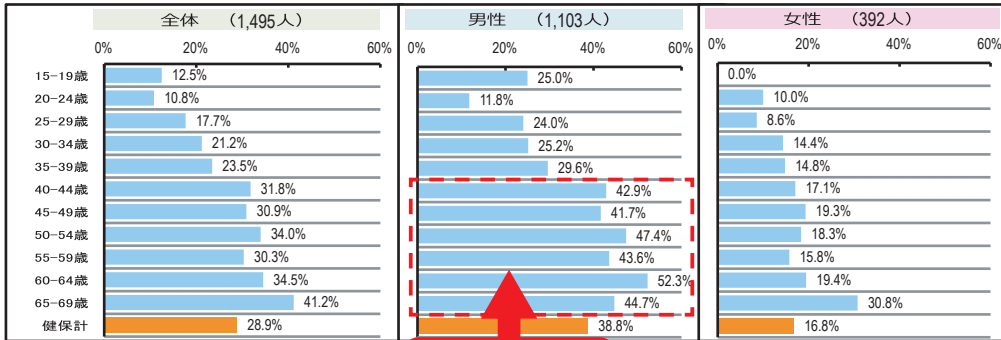
禁煙により長期だけでなく即効性のメリットがあり、喫煙による病気のリスクが低下して健康状態もよくなります。たばこは喫煙者本人の生活習慣病やがんのリスクが上がるだけでなく、たばこを吸う周りの人も受動喫煙によってがんなどの健康リスクが上がるといわれています。

他人のたばこの煙を吸われる受動喫煙についての健康影響は近年多く報告されています。わずかに2割の喫煙者からの受動喫煙により吸わない人の健康リスクが高くなっています。禁煙により喫煙者本人だけでなく周りの人の病気のリスクも低下します。

肥満率と20歳からの体重変化について(本人 年齢階層別・男女別)

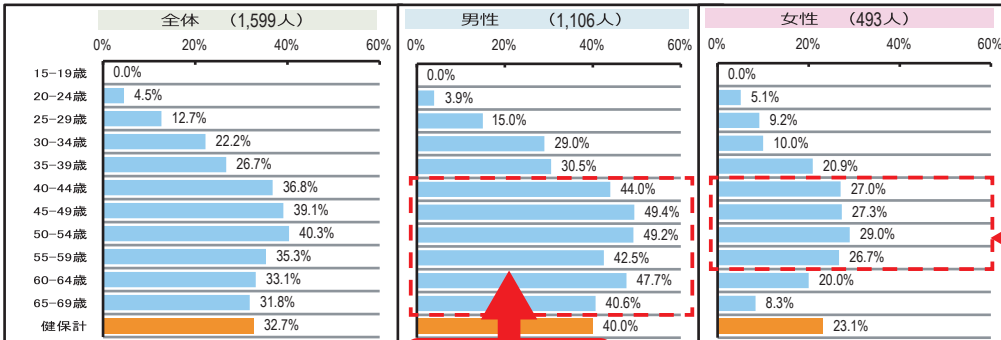
肥満率と20歳からの体重変化が10kg以上の方割合を男女別・年齢階層別で調査しました。

肥満率



男性は40歳以上で肥満率が高い

20歳からの体重変化10kg以上



男性は40歳以上で肥満率が高い

参考	全国平均
男性	45.0%
女性	24.6%

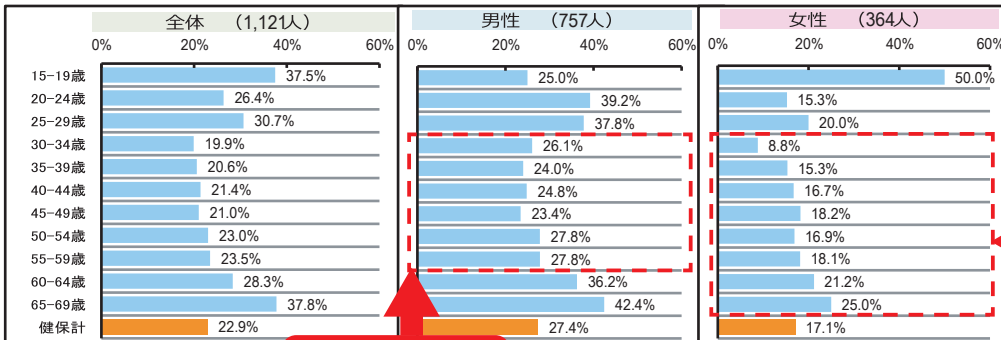
全国平均出典：
「H26年度特定健診の「問診回答」に関する調査」
(健康保険組合連合会、平成28年8月実施)

女性は40歳～59歳で該当者率が高い

健康増進活動への取り組みについて(本人 年齢階層別・男女別)

健康増進活動への取組状況について男女別・年齢階層別で調査しました。

1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している方の割合



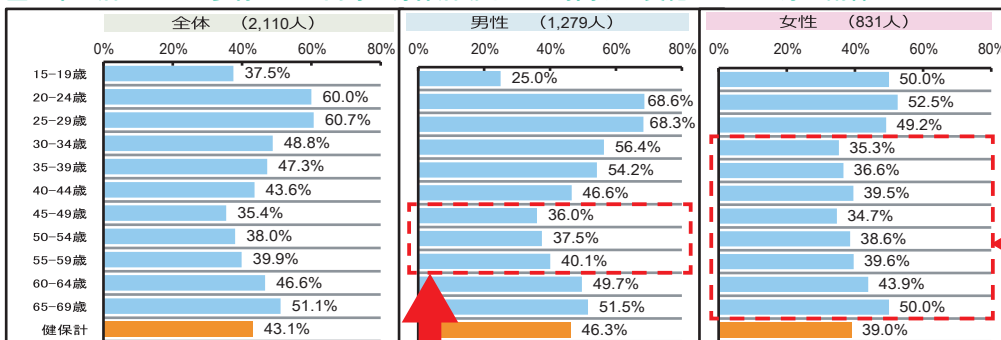
男性は30歳代から50歳代で他の年齢層より低い

参考	全国平均
男性	23.6%
女性	19.9%

全国平均出典：
「H26年度特定健診の「問診回答」に関する調査」
(健康保険組合連合会、平成28年8月実施)

女性は年齢上昇とともに実施率が上昇

日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している方の割合



男性は45～59歳で他の年齢層より低い

参考	全国平均
男性	33.9%
女性	37.9%

全国平均出典：
「H26年度特定健診の「問診回答」に関する調査」
(健康保険組合連合会、平成28年8月実施)

女性は年齢上昇とともに実施率が上昇

働きさん(被保険者) 平成28年度 健康通信簿 (事業所別・グループ別)

がん検診の受診状況と有所見率について男女別・年齢階層別で調査しました。

大腸がん、乳がん、子宮がんの年齢階層別・男女別受診状況では、いずれも、ご自身の健康に対して関心をもち始める年齢である40歳代を中心に受診者が多くなっています。

大腸がんの有所見率は男女とも受診者数の多い40～65歳で4～9%でした。乳がんは年齢層によっては10人に1人が、子宮がんは15人に1人が有所見者となっています。

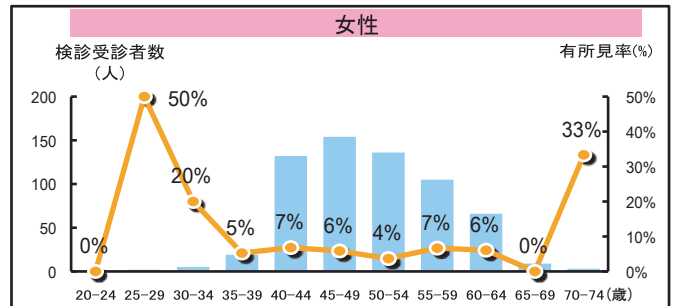
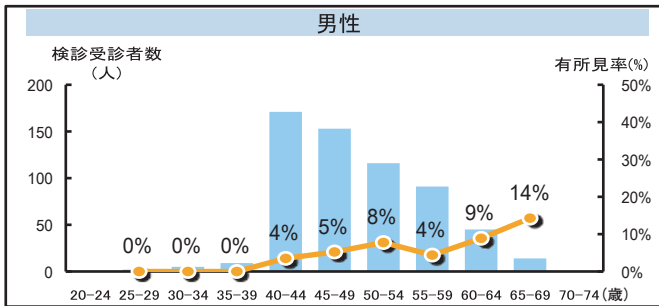
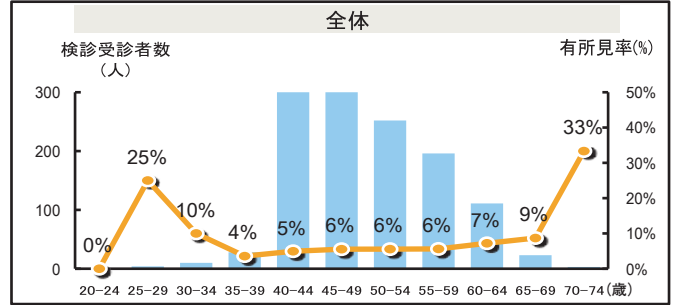
検診結果は年齢が低い層でも所見ありとなっている方がいますので、毎年検診を受けていただくようお願いします。

また、検診結果にて有所見となった方には別途医療職より連絡いたしますが、医療機関へ受診をし、早期発見に努めましょう。

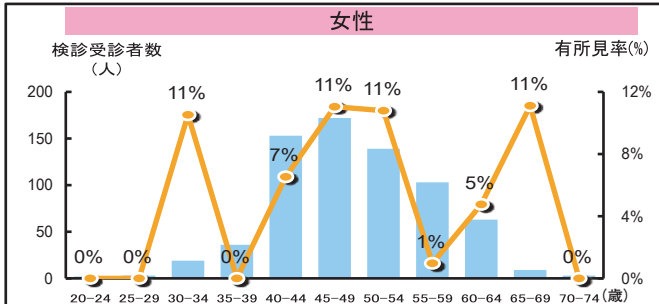
がん検診の受診状況(ダスキン健保計)

ダスキン健保計		受診人数	有所見者数	有所見率
大腸がん	全体	1,238人	71人	6%
	男性	606人	33人	5%
	女性	632人	38人	6%
乳がん	女性	702人	51人	7%
子宮がん	女性	568人	40人	7%

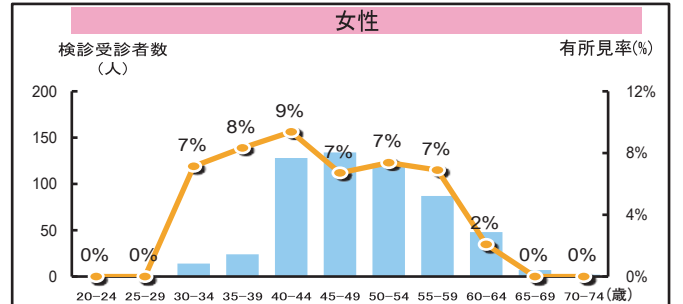
大腸がん



乳がん



子宮がん



がん検診の対象と項目

			定期健康診断(事業所と健保の共同事業)			ファミリー健診	
対象者			被保険者(本人)			配偶者・家族(任意継続者)	
年齢			39歳以下	41歳以上	新40歳	39歳以下 『配偶者』	40歳以上 『配偶者・家族』
健診種別			定期健康診断			ファミリー健診	
健診会場			巡回健診/施設健診 ^{※2}			巡回健診/施設健診 ^{※4}	
実施期間			4月～8月			4月～12月	
がん検診項目 ^{※7}	胸	胸部X線撮影(直接)	●	●	●	●	●
		喀痰細胞診 ^{※5}			●		
	胃	X線撮影(直接/間接)			●		
		内視鏡(胃カメラ)			●		
	大腸 ^{※6}	X線内視鏡			●		
		いずれかを選択			●		
婦人科 ^{※6}	大腸	便潜血反応2回法			●		●
	乳房	マンモグラフィ			●		●
		乳腺エコー			●		●
子宮	子宮細胞診(医師直接採取)			●		●	

● 法定内項目 ● 法定外項目^{※1}

がん検診(労働安全衛生法法定外健診項目)					
対象者		被保険者(本人)			
年齢		39歳以下		40歳以上	
健診種別		婦人科	大腸	婦人科	大腸
健診会場		施設健診	郵送検診	施設健診	郵送検診
実施期間		10月～2月			
検診項目	大腸	便潜血反応2回法		●	●
	婦人科	乳房	マンモグラフィ		●
		乳房	乳腺エコー	●	
		子宮	子宮細胞診(医師直接採取)	●	●

- ※1 労働安全衛生法に基づき、法定外項目の健診を希望されない場合は、健診時に申し出てください。事業所独自で、上記以外の法定外項目(ピロリ菌・腹部エコー・眼底検査など)が付加されている場合があります。施設健診を受診した場合は、検査機器の関係上、事業所独自の法定外項目は含まれません。
- ※2 巡回健診を受診した場合は、検査機器の関係上、「41歳以上」の健診項目となります(節日健診は受診できません)。
- ※3 加入者(配偶者・家族)居住地近隣の健診会場(巡回健診/施設健診)を選択できます。
- ※4 青字の項目は、平成28年度からの新検査項目です。
- ※5 『節日健診』『ファミリー健診』で、大腸および婦人科のがん検診を受診できなかった場合は、被保険者対象のがん検診(10月～2月)を受診できます。
- ※6 節日健診でのがん検診項目は、有効性評価に基づくがん検診のガイドラインに沿っています。
- ※7 ●有効性評価が低い検査項目(腫瘍マーカー)は検査項目として推奨していません。

生活習慣病対策(健康支援プログラム) コラボヘルス実施例について

ダスキン健康保険組合では、各事業所と連携したコラボヘルスを実施します。働きさんの所属先に直接ご協力のお願いをしています。

所属長様

平成29年3月31日

株式会社ダスキン
専務取締役 鶴見 明久
ダスキン健康保険組合
理事長 内藤 秀幸

働きさんの健康支援ご協力をお願い

合筆 いつちも心温まるお力添えをいただきありがとうございます。

皆様ご承知のとおり、平成29年2月21日、株式会社ダスキンは、経済産業省主催の「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定されました。平成30年度は関係会社も含めて、健康経営優良法人の認定に向けて取り組んでまいります。

定期健康診断の結果では、脂質異常症や高血圧症、糖尿病、肥満症など脳・心臓疾患等につながる所見を有する働きさんの割合が増加傾向にあります。また、社会的には業務上の事由によって脳・心臓疾患を発症し、突然死等の重大な事態に至る「過労死」等の事業が増加する傾向にあり、問題となっております。

このような状況の中で、働きさんが職業生活の全期間を通して健康で働くことができるようになるためには、事業主（会社）が働きさんの健康状態を的確に把握し、健康診断の結果に基づき医学的見地を踏まえて、働きさんの健康管理を適切に実施することが不可欠です。

労働安全衛生法第66条の5では、事業主（会社）に対して、健康診断の結果に基づき、産業医の意見を十分勘案し当該働きさんの実情を考慮して、有所見者に適切な措置を講ずることを義務付けています。また、厚生労働省は、「健康診断結果に基づき事業者が講ずべき措置に関する指針」（平成20年1月31日付け基発第0131001号）を公表し、就業上の措置の決定・実施の手順と留意事項について示し、「高齢者の医療の確保に関する法律（平成20年4月）」により、健康保険組合に特定保健指導の実施が義務づけられています。

働きさんの健康維持・増進に取り組み、生きがいのある心豊かな生活の実現のためにも、事業主(会社)と健康保険組合の協力のもと、働きさんへの健康支援を実施してまいります。

本来、就業時間中に保健指導等の健康支援を受けた時間は業務ではありませんが、勤務したとみなします。また、健康支援担当者から相談を受けた場合は、特段の理由がない限り、健康支援を受けるように、ご指導の程よろしくお願いたします。

ありがとうございました。 合筆

- 定期健康診断の健診結果に基づく、健康支援プログラム
 - 特定保健指導（生活習慣改善プログラム）
 - 糖尿病性腎症・慢性腎不全 重症化予防プログラム
 - 心・血管疾患 発症予防プログラム
- 本件にご不明な点がございましたら、ダスキン健康保険組合まで、ご連絡をお願いします。
Phone 06-6821-5095

株式会社ダスキン
専務取締役 鶴見 明久
ダスキン健康保険組合
理事長 内藤 秀幸

皆様ご承知のとおり、平成29年2月21日、株式会社ダスキンは、経済産業省主催の「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定されました。平成30年度は関係会社も含めて、健康経営優良法人の認定に向けて取り組んでまいります。

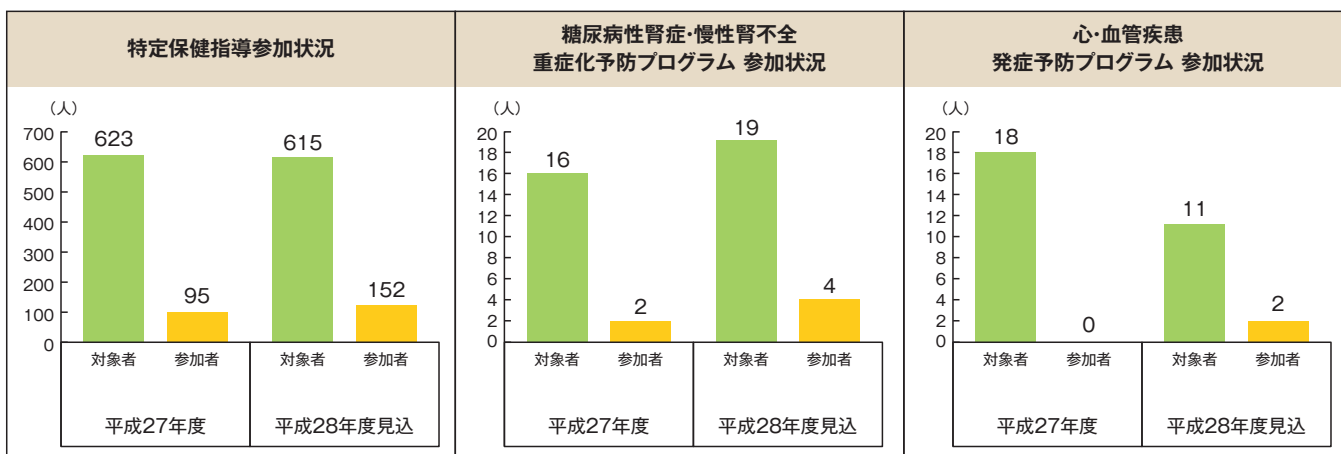
働きさんの健康維持・増進に取り組み、生きがいのある心豊かな生活の実現のためにも、事業主(会社)と健康保険組合の協力のもと、働きさんへの健康支援を実施してまいります。

本来、就業時間中に保健指導等の健康支援を受けた時間は業務ではありませんが、勤務したとみなします。また、健康支援担当者から相談を受けた場合は、特段の理由がない限り、健康支援を受けるように、ご指導の程よろしくお願いたします。

- 定期健康診断の健診結果に基づく、健康支援プログラム
 - 特定保健指導（生活習慣改善プログラム）
 - 糖尿病性腎症・慢性腎不全 重症化予防プログラム
 - 心・血管疾患 発症予防プログラム

健康支援プログラム実施状況

定期健康診断の健診結果に基づく、健康支援プログラム参加者/対象者 ※ダスキン健保計



ダスキン健康保険組合では、各事業所と連携してコラボヘルスとして定期健康診断の健診結果に基づく健康支援プログラムへの参加を呼び掛けています。生活習慣病の懸念のある方には生活改善プログラムとして「特定保健指導」を、より重症化の懸念がある方へは「糖尿病性腎症・慢性腎不全重症化予防プログラム」、「心・血管疾患 発症予防プログラム」への参加を呼び掛けています。参加状況は「特定保健指導」で約2割、は「糖尿病性腎症・慢性腎不全重症化予防プログラム」、「心・血管疾患 発症予防プログラム」でも2割前後となっております。就業時間中の健康支援プログラム参加時間は勤務とみなされます。ご自身だけではなく取り組めない生活習慣や重症化予防を専門家のサポートを活用できる機会ですので、積極的に参加をお願いします。